

ふるさと
キラリ賞

第25回 ふるさとイベント大賞 選考委員会表彰

UNMANNED 無人駅の芸術祭 / 大井川

本プロジェクトは、「無人」と呼ばれるエリアにおける、アートを手法とした地域再生の取り組みです。アーティストが地域資源や人々の魅力、時には課題をも顕在化させ、無人駅を核とした集落に息づく「記憶」「風景」「営み」を掘り起こし表現することで、様々な交流や関係を生み出すことを目的としています。無人駅という時代の流れに打ち捨てられたような場に、アートを手法にスポットを当てる逆転の発想で、息づく景色や人々の生活を再発見します。参加住民は共に作業を行うことで新たなつながりを生み、地元への誇りや愛着の醸成となります。集落および制作過程では、高齢者が自らの知識や経験を伝え、生きがいつくりの一助となります。

来訪者は、作品を通して地域を再発見します。地域全体ではヒト・モノ・コトの掘り起こしと再編集、発信を通じた交流人口拡大や、これまで観光資源とは認識されてこなかった場所が今後、注目される可能性を含んでいます。

平成29年度から始め、令和2年3月に3回目の開催を迎えました。「無人駅がひらくと地域がひらく」がテーマで、大井川鐵道の無人駅6駅と、三つの集落周辺が舞台になりました。

プロジェクトは、「掘り起こす」「あらわす」「共にひらく」の三つのフェーズに即し実施しています。「掘り起こす」では、集落の文化や暮らし、景色を、アーティストが滞在してリサーチを行いアーカイブさせます。「あらわす」はアーティストが作品として表現する一連の取り組みです。制作にあたっては、集落の住民をはじめ、内外のボランティアなどの関わりを重視しています。「共にひらく」では、3月に「無人駅の芸術祭」を行います。来訪者に対し作品表現を核として、集落の人々やエリアが新しい魅力あるものとして開いています。

また、美術館のない島田市と川根本町では、この取り組みが文化芸術のアウトリーチとして機能しているとともに、芸術祭を核として住民の関わりが強固になっている集落の増加も顕著です。

主催者メッセージ

美しい景色や人の営みだけでなく、集落に愛されている地蔵尊や、だいだらぼっち伝説、河童など、様々なテーマを16組のアーティストが多彩に表現しています。またコロナ禍を受けた「Unmanned Stand Project」として、無人でありながら人の交流や気配を感じられるアートプロジェクトも。少し早い春の大井川鐵道無人駅と集落を楽しみにぜひお越しください。



NPO法人クロスメディアしまだ
理事長

大石 歩真さん

事務局長

兒玉 絵美さん



開催DATA

自治体名	静岡県島田市、川根本町
自治体人口	98,282人（島田市） <small>※R2.12末現在の住民基本台帳人口</small>
主催団体	NPO法人クロスメディアしまだ
開催回数	3回
開催日	令和2年3月6日(金)～3月22日(日)
開催場所	大井川鐵道無人駅とその集落
観客数	約10,000人



静岡県
島田市

評価のポイント

- 「無人駅」という場を地域資源と捉え、アートの視点で地域の魅力を掘り起こしている。
- 国内外で活躍する複数のアーティストが滞在し、無人駅とそこから広がる集落の資源に焦点を当てた作品や、地域の人々と一体となった体験型の作品を展開。
- 作品表現や来訪者との交流により、地域への誇りを持つことにつながっている。

次回 開催日程

- 開催日：令和4年3月開催予定
- 開催場所：大井川鐵道無人駅とその集落
- 問い合わせ先
 - ・団体名 NPO法人クロスメディアしまだ
 - ・住所 〒427-0029 静岡県島田市日之出町2-3
 - ・電話番号 0547-35-0018 ・URL <http://unmanned.jp/>